

協会創立記念大会に集まった協会員。まず集合写真を1枚！（12月21日・市民公園Aコートで）



楽しく親睦・熱く討議

協会創立記念大会・総会 開く



67人が本人出席して開かれた正午からの総会（体育館会議室で）

協会は12月21日（日）、創立記念大会と14年総会を開いた。協会員約70人が参加。午前9時から市民公園Aコートで男女別に親睦ダブルスを楽しんだ。正午から1時まで体育館で総会。昼食をとりながらこの1年の活動を振り返った。業務、運営、会計の各部報告を承認。会長に高木順氏を1選。恒例の「お楽しみ福引き」に興じ、総会を閉会した。

70人が集い 即席ダブルス

午前9時、協会員が続々集合、約70人。記念撮影後、男女別のグループにわかれて老若混交で親睦のダブルス。初参加のメンバーも初めてのコンビ、初めての相手に戸惑いながらも懸命のプレー。

総会後の午後1時からコートに戻り、思い思いにゲームを再開。夕闇迫る寒気の中、いい汗を流して午後4時過ぎに散会。（総会の模様2面に）

<協会の沿革>

41年前・昭和48年12月、毛の生えた球でやろまあ」と市内緑町の瀬戸信金運動場で硬式球を打ち始め、「硬式庭球協会」を作ったのがスタート。で、こんな寒い時に記念大会。昭和51年4月の市体協加盟まで、大会、教室、対外試合など開催。初代会長は故・加藤昇氏。高木現会長は5代目。会員約200人。

残高30万、青信号灯る

業務・運営・会計各部の報告を承認

体育館での総会は正午開会。議長に加藤徳太郎氏を選出。本人出席67、委任76の計143人出席で成立を確認。議題は①会長の年間総括

や、運営の議、各部討、各報告を総、会業会報した



②業務・運営・会計の各部報告③会長選出④その他
 会計監査を含め各部の活動報告は、いずれも拍手で承認された。

会員数185 / 高木会長を12選

高木会長は年間総括で、昨年問題となつた会費未納・滞納は1年間の納入猶予の撤廃で解決。財政は健全性を取り戻した。東コート(オム)は全面張り替へ。大会は予備日を使わず、順調に実施できた。

尾張旭対抗団体戦は親睦に徹し、久々の小差敗戦。教室受講者はリビーター多く、内容は高く評価されているもよう。瀬戸駅伝に3度目出場。走路員に

ラゲット・松下さん



恒例の加藤スポーツ提供、お楽しみ編引き。出席者の約半数に「何かいい物」が当たる賞品抽籤。グッズと名前が読み上げられるたびに歓声とため息。1等の張り上がりラケットをゲットしたのは3年連続女性で、松下満代さん。加藤スポーツ店主の徳太郎氏から授与されている。

5人を派遣。協会業務、大会運営などへの会員の協力に感謝。
 今年1年の活動を回顧した。業務部報告では①会報「STK」の発行(年間6号)②練習会(4、10月、月4回)のコート確保と実施③連絡用任復はがきの送付などの活動が報告された。

運営部報告では年間の大会、3教室、練習会が滞りなく開催されたことが述べられ、指導者講習会への一般会員の参加も呼びかけられた。会計報告は高木会長が代行。収入197万円、支出167万円の細目を説明。残高は前期比倍増の30万円となったことを報告。監査も八百山浩幸氏が「相違なし」と報告した。その他では、「錦旗記念吹き出しコンゴ」の募集、ゲーム中の足ケイレンの扱いの徹底などが話し合われた。

高木会長を12選

総会決定事項の会長選出に移り、自薦・他薦候補はなく、「留任」の声しきり。高木順現会長の12選を満場一致で決めた。

全国レディース

愛知初戦敗退



無念の初戦敗退——2回戦で群馬に1-2で惜敗した愛知チームのペア

愛知代表3ペア
 吉見裕子・吉見由佳組
 山本美穂・森山亜由子組
 野口みづほ・稲田正子組

主婦テニスの晴れ舞台、第36回ソニー生命カップ全国レディース決勝大会東京昭島・昭和の森は4都道府県大会の上位3ペアが代表となつて14ペアが集い、11月13-15日に行われた。
 過去2度優勝を誇る愛知は右の布陣。2回戦から登場したが、群馬に1-2で惜敗した。

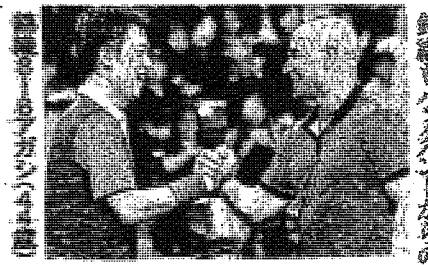
関東勢が4強 東京V2

8強戦は茨城2-1三重、千葉2-1福岡、神奈川3-0岐阜、東京3-0兵庫、岐阜、三重も健闘及ばず、今年も4強は関東勢が占めた。準決勝は千葉3-0茨城、東京3-10神奈川。決勝は東京が3-10で千葉に快勝して2連覇。3決は神奈川が茨城を下した。

魅せられた世界の力

会長 川西秀夫 さん

1月10日の日、東京・有明での錦織選手の
震災復興慈善試合を観てきました。
錦織選手のドリルマッチは8ゲーム
先取。選手入場、AとBがアイツルから軌
旋の錦織選手も、アガシの方が会場のボル
テージが高かった。日本人にはやはりアガ
シは「永遠のヒーロー」なんですよ。
錦織選手もバックハンドからのストロークを得



意ですが、アガシにはまっただけは
システム、スピードともアガシが勝
つているように
見えたのは私
だけではないと
思います。あの
厚い胸板から
のバックハンド
のバックハンドは老
いても構いません。
ですが左ハンドラ
ントスマヤーへ

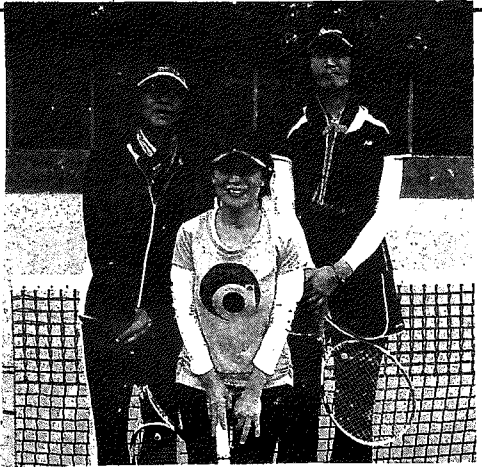
ナイト練習会は 来年4月に再開

秋の森林練習会は台風19号のため、お断り。予備日なし。

45年・今後の日程

- ★協会理事会・総連大会
2月15日(日)午前11時から体育館で理事会。午後1時から総連テニス。市民公園A。雨天時は理事会のみ。
- ★春季テニス教室
3月1, 8, 15日の日曜3回。午前9時～午後1時の各4時間。市民公園Aで。市内在住・在勤・在学者または市外の協会員。先着60人募集。参加費=1人4,500円。受付=2月2日～2月18日。予備日=3月22日(日)。2月1日付広報掲載。
※コーチ役の方々、ご協力お願いします。
- ★第30回 瀬戸地方高校生大会
3月23日(月)、24日(火)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。瀬戸近郊高校生。男女単・複。学校チーム別団体トーナメント。参加費=1チーム43,000円。予備日=3月25日(水)。学校関係者に案内。

お・た・ま」そのうち、嫌いな取るわよ、表彰状



大島 幸子さん ⑤
田中 敬代さん ④
町田ひさ子さん ⑥

今年加入の仲良し女性トリオが自己紹介を兼ねて次の5項を聞いた。
①テニス歴と過去のスポーティング得意と苦手。②テニスの楽しさ。③当面の目標。④通関の練習時間。
▼大島さん①12年ほど。小・中・高とバレーボールが好き。足と反動はなかなか。苦手はドロップ。アウツが多く、②ダブルエースと楽しんでる。③2部で生活してます。たが未勝利。とりあえず1勝④田中

賞が優れているという感じでした。フアンサービスマの「アガシの1部サーブを前に詰めて打ちした」ドロップサーブには、思わぬ「オマケな」大歓声。敬代のゼンスを魅せつけられました。【以上寿橋】
▼錦織の語り「アガシはショットが鋭かった。展開の速さから多くを学んだ」
▼アガシ「今は後継者がいるか。すぐに上達している。世界にならないう。」

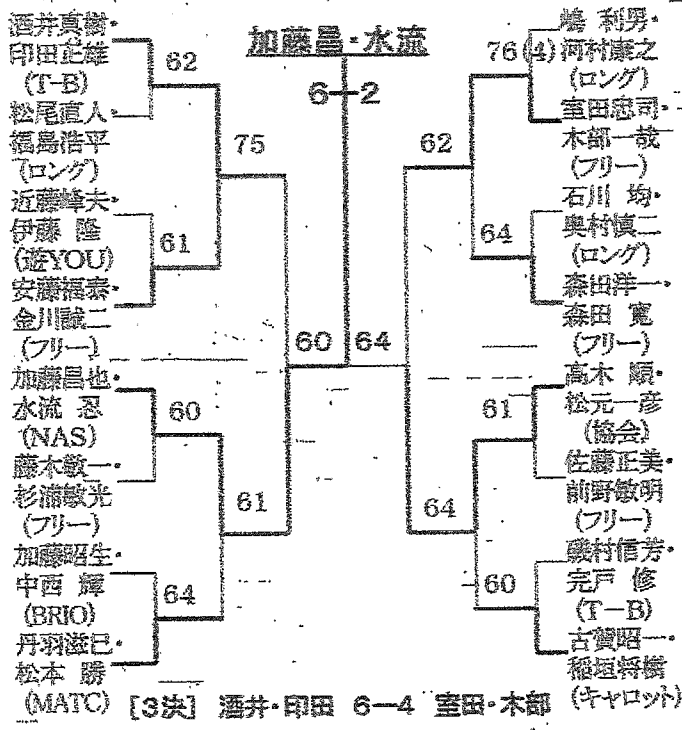
国体 成年女子4位

少年男子は6位

- 愛知国体(10月)テニス、愛知は成年女子(東海学園大)西尾友里(中央大)高校卒業生が準決勝で敗れて4位。少年男子は8強戦で敗れ、6位となった。
- 少年男子1回戦 愛知(服部、安田) 2-1
- 1・1 神奈川△同2回戦 愛知 2-1
- 1・2 山梨△同3回戦 愛知 2-1
- 山梨△同4回戦 愛知 2-1
- 愛知△同5・3位決定戦 愛知 2-1
- 1・0 福岡△同6・6位決定戦 東京 2-1
- 愛知
- 成年男子1回戦 愛媛 2-1
- 知(山田、伊藤)
- 少年女子2回戦 愛知(林、三井) 0-2 茨城
- 成年女子1回戦 愛知 2-1
- 成年女子2回戦 愛知 2-1
- 成年女子3回戦 愛知 2-1
- 成年女子4回戦 愛知 2-1
- 成年女子5回戦 愛知 2-1
- 成年女子6回戦 愛知 2-1
- 成年女子7回戦 愛知 2-1
- 成年女子8回戦 愛知 2-1
- 成年女子9回戦 愛知 2-1
- 成年女子10回戦 愛知 2-1
- 成年女子11回戦 愛知 2-1
- 成年女子12回戦 愛知 2-1
- 成年女子13回戦 愛知 2-1
- 成年女子14回戦 愛知 2-1
- 成年女子15回戦 愛知 2-1
- 成年女子16回戦 愛知 2-1
- 成年女子17回戦 愛知 2-1
- 成年女子18回戦 愛知 2-1
- 成年女子19回戦 愛知 2-1
- 成年女子20回戦 愛知 2-1
- 成年女子21回戦 愛知 2-1
- 成年女子22回戦 愛知 2-1
- 成年女子23回戦 愛知 2-1
- 成年女子24回戦 愛知 2-1
- 成年女子25回戦 愛知 2-1
- 成年女子26回戦 愛知 2-1
- 成年女子27回戦 愛知 2-1
- 成年女子28回戦 愛知 2-1
- 成年女子29回戦 愛知 2-1
- 成年女子30回戦 愛知 2-1
- 成年女子31回戦 愛知 2-1
- 成年女子32回戦 愛知 2-1
- 成年女子33回戦 愛知 2-1
- 成年女子34回戦 愛知 2-1
- 成年女子35回戦 愛知 2-1
- 成年女子36回戦 愛知 2-1
- 成年女子37回戦 愛知 2-1
- 成年女子38回戦 愛知 2-1
- 成年女子39回戦 愛知 2-1
- 成年女子40回戦 愛知 2-1
- 成年女子41回戦 愛知 2-1
- 成年女子42回戦 愛知 2-1
- 成年女子43回戦 愛知 2-1
- 成年女子44回戦 愛知 2-1
- 成年女子45回戦 愛知 2-1
- 成年女子46回戦 愛知 2-1
- 成年女子47回戦 愛知 2-1
- 成年女子48回戦 愛知 2-1
- 成年女子49回戦 愛知 2-1
- 成年女子50回戦 愛知 2-1
- 成年女子51回戦 愛知 2-1
- 成年女子52回戦 愛知 2-1
- 成年女子53回戦 愛知 2-1
- 成年女子54回戦 愛知 2-1
- 成年女子55回戦 愛知 2-1
- 成年女子56回戦 愛知 2-1
- 成年女子57回戦 愛知 2-1
- 成年女子58回戦 愛知 2-1
- 成年女子59回戦 愛知 2-1
- 成年女子60回戦 愛知 2-1
- 成年女子61回戦 愛知 2-1
- 成年女子62回戦 愛知 2-1
- 成年女子63回戦 愛知 2-1
- 成年女子64回戦 愛知 2-1
- 成年女子65回戦 愛知 2-1
- 成年女子66回戦 愛知 2-1
- 成年女子67回戦 愛知 2-1
- 成年女子68回戦 愛知 2-1
- 成年女子69回戦 愛知 2-1
- 成年女子70回戦 愛知 2-1
- 成年女子71回戦 愛知 2-1
- 成年女子72回戦 愛知 2-1
- 成年女子73回戦 愛知 2-1
- 成年女子74回戦 愛知 2-1
- 成年女子75回戦 愛知 2-1
- 成年女子76回戦 愛知 2-1
- 成年女子77回戦 愛知 2-1
- 成年女子78回戦 愛知 2-1
- 成年女子79回戦 愛知 2-1
- 成年女子80回戦 愛知 2-1
- 成年女子81回戦 愛知 2-1
- 成年女子82回戦 愛知 2-1
- 成年女子83回戦 愛知 2-1
- 成年女子84回戦 愛知 2-1
- 成年女子85回戦 愛知 2-1
- 成年女子86回戦 愛知 2-1
- 成年女子87回戦 愛知 2-1
- 成年女子88回戦 愛知 2-1
- 成年女子89回戦 愛知 2-1
- 成年女子90回戦 愛知 2-1
- 成年女子91回戦 愛知 2-1
- 成年女子92回戦 愛知 2-1
- 成年女子93回戦 愛知 2-1
- 成年女子94回戦 愛知 2-1
- 成年女子95回戦 愛知 2-1
- 成年女子96回戦 愛知 2-1
- 成年女子97回戦 愛知 2-1
- 成年女子98回戦 愛知 2-1
- 成年女子99回戦 愛知 2-1
- 成年女子100回戦 愛知 2-1

壮年加藤

＜壮年(45歳以上男子複)戦績＞



（前右）壮年初優勝の加藤昌・水流組（前左）、準優勝の高木・松元組（前右）、第3位の酒井・印田組（後左）と室田・木部組（後右）



[コンソレ決勝] 磯村・完(し)戸 6-4 嶋・河村

【壮年・レディース大会 近年の優勝ペア】

年	[壮年]	[レディース]
1996	菅野英男・岡田吉雄	橋本正子・長江勝子
1997	中小路義男・黒野真市	長谷川・足立
1998	黒野真市・中山高雄	鈴木時子・長江勝子
1999	高木 順・横山高雄	牛田千鶴・川崎智子
2000	高木 順・横山高雄	鈴木時子・高木淳子
2001	田中俊雅・喜多幸雄	江口ひとみ・加茂冷子
2002	横山高雄・高木 順	鈴木時子・高木淳子
2003	横山高雄・岩本祥光	吉村鮎美・飛山るみ子
2004	松元一彦・高木多幸雄	江口ひとみ・渡辺和代
2005	田中俊雅・喜多幸雄	安江真理子・高木淳子
2006	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・松原由布子
2007	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・小笠原まり子
2008	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・小笠原まり子
2009	横山真和・近藤将夫	高木淳子・小笠原まり子
2010	古賀昭一・近藤将夫	作石 節・吉村鮎美
2011	岩崎正人・川崎峰二	高木淳子・松原由布子
2012	岩崎正人・川崎峰二	河合利江・大島美香
2013	加藤昌也・三浦正光	作石 節・吉村鮎美
2014	加藤昌也・水流 忍	河合利江・寺田ひとみ

レディース初Vの河合・寺田組（前右）、準優勝の作石・吉村組（前左）、第3位の渡辺・橋本組（後左）と天野・加茂組（後右）



会報100号記念 Babolat が喜ぶ? 名訳標語 『Tennis runs in our blood』=『テニス、私たちの血がさわく』

◆テニス初V男子国別対抗戦・テニ決勝のスイス・フランスは、スイスの2-1からの最終日、準でフエアラがガスケを6-1、4、6-2、6-2で下してスイスが初優勝。

◆フエアラ杯はチニ女子国別対抗戦・フエアラ杯決勝はチニがドイツに準で3連勝し、2年ぶりに優勝。2連勝で迎えたチニはクビトバがケルバーに7-1、6-4、6-1で乗り勝った。

青山ツアー複5勝目
 ジャパン女子OP 準優勝不振
 ジャパン女子オープン(10月・大阪)つば復決勝で青山修子(近藤晃美・赤沼ユキ(チニ)組がアルブレナス・ベインマリテイド組に6-1、6-2の快勝でV。青山は8月のシテイOPに続く優勝で複はツアー15勝目。単は第5シード・テニス・カザンスタンを下して2年連続3度目のV。ツアー6勝目。単の青山、穂積絵莉、尾里理沙ら日本勢は1、2回戦で全滅した。

アジアパラ大会 庫い侍
国枝・金 上地・銅
 韓国仁川アジアパラ大会車いすテニス男子単で世界ランク1位の国枝煥吾(30歳・ミナミ)は決勝で真田卓(埼玉トヨハット)を6-1、3、6-1で下して金メダル。16年リオデジャネイロ・パラ五輪の出場権を獲得した。
 女子世界ランク1位の上地結衣(エイベックス)は準決勝タイ選手に敗れ、3決に勝って「銅」。

高校学年別大会

289人熱戦

第4回瀬戸地方高校学年別大会は11月3日(月)、8日(土)の2日間、市民公園A・Bで行われた。瀬戸市近郊の高校1、2年生合わせて289人(男子171人・女子118人)が男女の単、複8部門に熱戦を展開した。(戦績表は準決勝以降)



男子表彰式。賞状を受ける2年単優勝の瀬戸北・矢野雄大



女子表彰式。賞状を受ける2年複優勝の大野・宮澤組(長久手)

人見が完勝V 「3決」神戸咲いた

【女子・1年単】

優勝=人見 理恵(聖霊) 鈴木 6-0
 準優勝=加藤 未悠(旭野) 加藤 6-0
 第3位=神戸 美咲(瀬戸西) 人見 6-0
 鈴木 美咲(瀬戸西) 神戸

[3決] 神戸 6-0 鈴木

※人見が準決勝、決勝とも快勝のV。3決の「美咲対決」は神戸。

【女子・1年複】

優勝=小林菜穂・加藤陽乃(聖霊) 小林・加藤 6-2
 準優勝=西川理奈・小柴幸寿(栄徳) 4-6
 第3位=野中日向・山村伊吹(長久手) 6-3
 伊藤綾乃・大野梨紗(瀬戸西)

[3決] 野中・山村 6-1 伊藤・大野

※長久手、人見と組んだが先聲ペラにクライブで倍返しして準優勝だった小林は今回、加藤とのコンビで見事優勝。

【女子・2年単】

優勝=大島 早紀(聖霊) 大島 7-6
 準優勝=佐々木結友(瀬戸北総合) 6-0
 第3位=佐藤 真裕(聖かたまり) 1-6
 岸上 由佳(旭野)

[3決] 佐藤 6-3 岸上

※決勝前3レールの好試合。タイブレーク-5。波撃V・大島に準冠。佐々木、大会連続選出。

【女子・2年複】

優勝=矢野朱音・宮澤円来(長久手) 矢野・宮澤 6-3
 準優勝=清水友梨耶・稲垣佑香(旭野) 7-5
 第3位=西川海音・山崎美咲(聖霊) 0-1
 前田有紀・齋藤いづみ(長久手)

[3決] 西川・山崎 6-3 前田・齋藤

※新人戦は3位だった矢野・宮澤組が勢いさペラに旭野ペアを下して歓喜のV。

2年男子単・矢野(瀬戸北)、女子は大島(聖霊)が優勝

<高校学年別大会 成績>

【男子・1年単】

優勝=鈴木 拓夢(長久手) 鈴木拓夢 6-0
 準優勝=鈴木 直人(瀬戸西) 0-6
 第3位=幸島 文(瀬戸西) 6-3
 深谷 純平(栄徳)

[3決] 幸島 6-1 深谷

※鈴木は今夏の新人戦(2年・博見に敗れ8強止まり)から復活。完勝で1年生王者。

【男子・1年複】

優勝=物部廉次郎・工野新之助(旭野) 物部・工野 6-4
 準優勝=日比野 匠・鈴木 和真(栄徳) 6-3
 第3位=近藤 修平・出来 早介(旭野) 6-2
 緒方 尊人・大山 一毅(旭野)

近藤・出来 6-2
 物部・工野 6-4
 日比野・鈴木 6-3
 緒方・大山 6-3

[3決] 近藤・出来 6-3 緒方・大山

※旭野勢が活躍。夏3位の物部・工野に勝ちついでに重たいタイトルをさらした。

瀬戸西勢、決勝進出逃す

【男子・2年単】

優勝=矢野 雄大(瀬戸北総合) 矢野雄大 6-3
 準優勝=博見 真臣(栄徳) 6-7
 第3位=西 新入(瀬戸西) 6-1
 久野 友矢(瀬戸西)

※新人戦3位の矢野が粘りと我慢のデニスで博見の夏秋連覇を断った。瀬戸西勢は決勝進出ならず、無念の3決対決。

[3決] 西 6-3 久野

長久手対決は水野・永井組

【男子・2年複】

優勝=水野 慶司・永井 大州(長久手) 水野・永井 6-4
 準優勝=山本 康隆・吉田 拓人(長久手) 6-1
 第3位=高柳 優樹・滝 啓太(栄徳) 6-1
 吉井 駿伍・水野 貴介(長久手)

山本・吉田 6-4
 吉井・水野 6-1
 高柳・滝 6-1
 水野・永井 6-3

[3決] 高柳・滝 6-3 吉井・水野

※水野・永井、クライムに苦しみ、夏3位の水野・永井は、今大会は水野・永井のコンビで復活のV。

圭 飛躍記念 吹き出しコンペ

錦織の飛躍を記念。写真の2人の会話を勝手に作って下さい。
JとK、前後自由。直球、変化球、吹き出す魔球を。瀬戸市上松山町2-10 近藤峰夫まで郵送、またはFax 0561-84-3196 (近藤)、または手渡し。4月末日締切。秀作は会報掲載・賞品付。

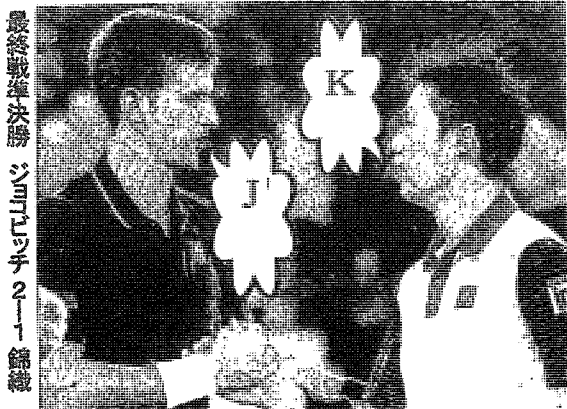
J ① まず J か K (いずれかに○印を)

言葉=

② 答えて JかK

言葉=

作者(協会員)名=



例=①J:強くなったね、腕相撲 ②K:ジョコ食ってるから

最速戦線決勝 ジョコピッチナー 錦織

＜ 応募用紙 切り取り線 ＞

ファイナル3Q

Q1: 今回のA1トップアール・ファイナルで錦織が初めて勝った相手は?
2: ツアーフアインナル8人。リーグ後に決勝トーナメント。全部の試合数は?
Q3: 今年の流行語50選に○した錦織の言葉は?

男子単・添田優勝
女子の青山は準V
ダンロップワールドチャレンジ(豊田)11月23日まで男子単は準決勝で杉田を下した添田泰と伊藤龍馬の決勝。添田が6-4、7-5で辛勝して6年ぶり2度目の優勝。2人は1月の全豪本戦入り有望。男子復讐は内山・松井組V。女子単決勝はタマリネに快勝した青山修子と、伊達の棄権で上ったメスタフ(ベルギー)。青山は1-6、1-6の完敗で準優勝。女子復讐は徳橋絵莉と二宮真琴組が青山・波形組を下して初優勝した。

◆協会走路員の方々に苦労まででした。次回の走者募集中。

「疲れた〜」ゴール後(左から)川西秀、稲垣、近藤



3度目出場 62分44秒・37位

協会は瀬戸駅伝(12月14日)に3度目の出場。1区(3.4km)川西秀夫、2区(1.8km)近藤峰夫、3区(4.6km)川西健太、4区(3.6km)稲垣将樹の4人が小雪舞う中、男子2部(出場58)を力走。2区ス協会のロゴを付けて懸命にタスキをつないだ。記録は協会最高(56分05秒)から大きく遅れて62分44秒で37位。大鵬・中垣の2人が抜けた穴が埋まらず苦しい布陣。3区のエース・川西の好走(区間21位)も実りなかった。なお、大鵬・中垣・大島滝川(イトーK.T.)の瀬戸走行会場所(56分20秒・17位)と健闘した。

協会チーム瀬戸駅伝を力走

◆中川がプロに11月9日の全米ジュニアで優勝した18歳中川直樹(柳川高)が1月1日付けでプロ転向。錦織と同じ米IMGアカデミーが練習本拠。西岡良仁とともにも日本の次代のエース候補だ。◆選抜高校東海大会決勝 男子 四日市工3-10名経大市郷 女子 愛知啓成3-10浜松市立

◆バッシング自体よりも、その前の「崩し」

相手の体勢が整っているところへハードヒットしていても決まらない。むしろ、速い球は面を合わせるだけで速い球で返球されやすいので、一気にピンチに陥ることもある。

いきなり勝負の強打を放つ前に、相手の陣形や体勢を崩すショットを打っておきたい。自分たちがコートの内側



⑫

で、高い位置から打てるように組み立てる作業が肝心。崩すためのショットは速球である必要はない。ピンチの時にも、一度遅いボールを送って相手に打たせて次に勝負する余裕がほしい。例えば緩くてもセンターへ沈むボールで相手にローボレーかハイボレーをさせ、浮いてきたところを強打だ。センターへの低くコントロールされたボールが「崩し」の役割を果たしている。

あなまのあなま

昭和の名優 相次ぎ逝く 高倉健、俳優。福岡県出身。本名・小田剛一(おたこういち)。都内病院で1月10日死去。83歳。東映任侠映画から転身、「幸福の黄色い夕陽」(1957)、「あなま」(1960)など約200本に主演。無口・不器用・信義の男を好演。菅原文太(すがわらぶんた)俳優。仙台市出身。11月28日死去。81歳。「仁義なき戦い」(1971)ラック野郎で人気。引退後は農業。反戦、脱原発運動も。

○創立記念大会・総会(14年)も暮。最終戦・壮年・レイニス有終Vおめでどう。レイニス寺田の両手バックは一級品。高校学年別大会には300人近い若人が熱戦を展開した。○錦織躍進の年。年間4勝。年初17位から5位にアップ。ツア10維持は大変だが、打倒3強で目標。今年末で25歳。4大会Vチャンスも3年内か。○錦織記念「吹き出しコンペ」の傑作募集。賞品は商品券にしましょうか。瀬戸駅伝に協会3度目挑戦。来冬は新記録をめざします。来季は3月の春季教習で始動。4月からナイター練習会。また一緒に練習しましょう。では皆さん、よいお年を。(近藤)

会報「STK」

業務部発行。1998年本格創刊。原則隔月発行。第10号まで鶴田優幸以降は近藤峰夫が制作を担当。部数約240。会員に郵送。

(次号は15年3月末)